

P21 3202 協働型コンテンツ開発演習

Collaborative Content Production and Development

3 学期		集中（3 月の予定）		春日キャンパスユニオン 1 階（予定）	
担 当 教 員	鈴木誠一郎・ 和田洋（生命）ほか	単位数	2	履修対象	学群・学類学生、大学院博士前期課程学生対象
科 目 の 概 要	いくつかのトピックによる演習を設け、芸術、生物、情報、人文など様々な異なる分野の知識を持つ学群生・大学院学生の協働によりコンテンツ開発の演習を行う。 受講者はいずれかのトラックを選択し、演習を行う。				
授 業 予 定	ー演習トラックの内容予定ー ＜地域映像資料デジタルアーカイブ＞（担当 鈴木誠一郎 ほか） 個人、企業、各種機関が所蔵する 8mm フィルムや 16mm フィルムやビデオなどには地域の伝統や文化を記録する貴重なものがあるが、埋もれていく危惧がある。これらを収集し、デジタル技術により保存することにより、活用・利用しやすい動画のデジタルアーカイブの基礎を構築する。データベース化や著作権の所在についての所有者に取材、交渉する中で知的財産について体験的に理解する。収集されたコンテンツの素材をジャンルごとや地域別にまとめていく作業の中で、①新たな発想によるアーカイブを利用した映像作品②記録として新撮するアーカイブ映像制作、この二つの制作手法も習得する。 ＜サイエンスコミュニケーション演習「生物映像づくり」＞（担当 和田洋，逸村裕，三波千穂美） 大学院生向け：自分の研究成果を映像，CG などを駆使して魅力的に発信する。 学類生・大学院生：生物学の実験内容を高校などでも活用してもらえよう、分かりやすく伝えるための映像づくりを行う。 ・ 生物学類の教員の研究成果を取材し、映像を作成する。 ・ そのほか、生物に関連する映像づくり				
達 成 目 標	演習の課程で、参加者各自が持つ知識や技術を提供して、コンテンツ開発の共同作業を行うことで、異分野の学生の主張を理解し、かつ異分野の学生に自分の考えを理解できるように表現するコミュニケーション能力を身につけること。				
授 業 形 態	グループに分かれて演習を行う。				
評 価 の 方 法	演習中の参加態度				
履 修 要 件	現代 GP 講義科目「コンテンツと権利管理」を併せて履修すること。				
そ の 他	演習は 3 月実施を予定しているため、卒業、修了予定者の単位履修はできません。 現代的教育ニーズ取組支援プログラム「異分野学生の協働によるコンテンツ開発演習」関連演習科目				